

別記様式第8号

新品種・新技術活用型産地育成支援事業（産地ブランド発掘事業）に関する事業評価票

事業実施主体名	新品種・新技術の内容	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容	成果目標の達成状況		具体的な取組内容	地方農政局長等の意見
				基準年 (計画策定時) 平成 26 年	目標年 平成 28 年		
滋賀県	家庭用花き需要に見合う切り花生産技術（菊類、トルコキキョウ等）	26年度	コンソーシアム候補を2つ形成する。	コンソーシアム候補は形成されていない。	コンソーシアム候補を2つ形成した。	<p>コンソーシアム候補形成に向けて以下の取組を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市場及び実需者との現地検討会や出荷調整会議並びに地域花き生産拡大研修大会の開催</li> <li>・開花調節技術等による需要期出荷の現地栽培試験、少量土壌培地方式等を活用した草花類の現地栽培試験等の実施</li> <li>・関係者（実需者、市場、JA等、県）による情報交換と共有のための検討会の実施</li> </ul>	生産者、実需者の意向調査を受けた技術改善の現地栽培試験を行った上、関係者（実需者、市場、JA等、県）による情報交換と共有のための検討会等を開催しており、コンソーシアム候補2つを形成したと評価できる。
京都府	覆い香みに優れるてん茶用新品種「展茗（てんみょう）」の普及促進	26年度	コンソーシアム候補を1つ形成する。	コンソーシアム候補は形成されていない。	コンソーシアム候補を1つ形成した。	<p>コンソーシアム候補形成のために以下の取組を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・荒茶品質評価会、推進検討会等の開催</li> <li>・栽培・技術マニュアル作成のためのデータ収集</li> <li>・現地で栽培・製造した「展茗」が実需者ニーズに合っているのか聞き取り調査</li> <li>・生産者と実需者のマッチングの場である荒茶求評会等を通じてのデータ提供、共通認識の醸成</li> </ul>	特性把握のため現地栽培試験茶園を設置し、交流会等で報告している上、生産者と実需者のマッチングの場である荒茶求評会等を開催しており、コンソーシアム候補を形成したと評価できる。
京都府	京都府産のお米活用による旨み成分の高い京都府産牛肉のブランド化	26年度	コンソーシアム候補を1つ形成する。	コンソーシアム候補は形成されていない。	コンソーシアム候補を1つ形成した。	<p>コンソーシアム候補形成のために以下の取組を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実証ほ設置等検討委員会、マッチング推進方策検討会等の開催</li> <li>・産地及び実需者へ相互の情報提供</li> <li>・飼料用米栽培の手引き作成</li> <li>・産地・実需者に加え、公益社団法人京のふるさと産品協会や試験研究機関を参集した検討会においてコンソーシアム候補の形成に向けた共通認識の醸成</li> </ul>	マッチング推進方策検討会の開催や施肥方法の実証活動等を行った上、流通業者を通じての供給体制が確立されているので、コンソーシアム候補を形成したと評価できる。

別記様式第8号

新品種・新技術活用型産地育成支援事業（産地ブランド発掘事業）に関する事業評価票

事業実施主体名	新品種・新技術の内容	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容	成果目標の達成状況		具体的な取組内容	地方農政局長等の意見
				基準年 (計画策定時) 平成 26 年	目標年 平成 28 年		
京都府	桂うりと佐波賀だいこんの栽培復活と機能性を活かした商品化	26年度	コンソーシアム候補を1つ形成する。	コンソーシアム候補は形成されていない。	コンソーシアム候補を1つ形成した。	<p>コンソーシアム候補形成のため以下の取組を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者、流通・加工の実需者、行政等の関係者が参画する検討会の開催</li> <li>・実証は調査や実需者の品質評価により、栽培マニュアルを作成した</li> <li>・品目毎に関係者で伝統野菜や機能性の付加価値を打ち出した商品化やPR方法の検討</li> </ul>	両品目において、生産者、流通・加工の実需者、行政等の関係者が参画する検討会を開催した上、本事業により京野菜機能性活用推進連絡会が組織されており、コンソーシアム候補を形成したと評価できる。
兵庫県	畝内部分施肥技術によるキャベツの施肥量低減技術	26年度	コンソーシアム候補を地域毎に形成する。	コンソーシアム候補は形成されていない。	コンソーシアムを地域毎（神戸、加古川、光都、豊岡）に形成している。	<p>コンソーシアム候補形成に向けて以下の取組を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実証試験現地検討会、現地実証試験実績検討会、実需者等との情報交換会等の開催</li> <li>・実証結果をまとめ、産地・実需者へ情報提供</li> <li>・産地と実需者との検討会に加え、機械メーカーや種苗メーカーとの検討会も実施</li> </ul>	産地、実需者、関係機関等が参集し、キャベツの生産体制、販売戦略についての検討を行い、関係者間の連携を図り、地域毎にコンソーシアムを形成しているので適切に事業が実施されたと評価できる。
兵庫県	「兵庫 I-3号」、「兵庫 I-4号」の生産拡大	26年度	コンソーシアム候補を1つ形成する。	コンソーシアム候補は形成されていない。	コンソーシアム候補を1つ形成した。	<p>コンソーシアム候補形成の向けて以下の取組を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実証展示ほ設置検討会、食味・加工適正等品質評価会の開催</li> <li>・栽培・技術マニュアルの作成、配布</li> <li>・生産者、実需者による検討会の実施</li> </ul>	実需者による加工適性等品質評価を行い、結果については生産者・実需者が一堂に会して検討する等しており、コンソーシアム候補を形成したと評価できる。